

■英国：スコティッシュパワーが8月から10%の電気料金値上げへ

スコティッシュパワーは2011年6月7日、8月1日から家庭用電気料金を平均で10%、同ガス料金を平均で19%値上げると発表した。これによりデュアルフュエル（電気とガスのセット販売）契約を行っている需要家で年間約173ポンド（約2.3万円）程度の料金上昇になるという。同社はこの値上げの要因として、中東の混乱や日本のガス需要の増大に伴う卸エネルギー市場価格の上昇をあげている。スコティッシュパワーは6大小売事業者の1つで業界5位（シェア11%）である。報道によると、他の6大小売事業者も値上げを行う可能性を否定していないとしている。前回の値上げ局面（昨年冬季）では、スコティッシュサザンエナジーが10月末に値上げをしてから3カ月以内に他の6大事業者も値上げに追随した。この値上げに対し、ミリバンド労働党党首は、エネルギー価格の上昇に対策を打てないキャメロン首相を非難している。規制当局のガス電力市場局（Ofgem）は、3月に小売市場における競争が有効に行われていないとし、小売市場の見直しに言及している。今回の値上げはこの見直しにも影響を与えられと考えられる。